

ガス給湯機 性能表示書

別表 F-1

2025年1月16日

一般財団法人 ベターリビング

理事長 眞鍋純

優良住宅部品認定規程第14条第4項に基づき、認定されたガス給湯機の主要な性能等を以下に表示する。

| | | | |
|-----------------------|---------|------|-----------------|
| 認定企業名 | 株式会社パロマ | 認定番号 | BLGH022126-A, B |
| 名称・型式、優良住宅部品の概要は別紙による | | | |

| 適用認定基準：ガス給湯機 BLS GH:2023 (2023年4月21日公表・施行) | | | | |
|--|---|--|--|--|
| 要求性能及び評価結果等 優良住宅部品の性能等 | 機能性 | | | |
| | 給湯・追いだき機能の能力が優れていること、熱効率が優れていること、能力変化性能[自動湯温安定式以外の瞬間式]が優れていること、ガス消費量が最も少ない状態の使用時の表示ガス消費量が適切であること、追いだき機能部の表示ガス消費量が適切であること、出湯湯温の安定性[瞬間式(自動湯温安定式)]の確保、最大給湯能力時の出湯能力[瞬間式]・最小給湯能力時の出湯能力[瞬間式]が優れていること、給湯機能の出湯温度が適切であること、高温水供給式における追いだき機能の出湯温度が適切であること、貯湯式の沸き上がり時間が適切であること、貯湯式の放熱特性が優れていること、最低作動水圧(作動水量)[瞬間式]が適切であること、運転時の騒音が少ないこと、自動機能(湯張り水位、沸き上げ温度、足し湯作動時の水位、保温作動時の湯温)の確保 | | | |
| | 安全性 | | | |
| | リモコン等の操作がしやすいこと、共用部分に設置される給湯機の保安性の確保、高温水供給式の火傷防止対策、立消え安全装置が機能すること、湯温ハイミット(貯湯式)が機能すること、残火安全装置が機能すること、凍結防止装置が機能すること、交流電源を使用する機器の電気的安全性の確保、水通路部の耐圧性が優れていること、出湯水の水質の確保 | | | |
| | 耐久性 | | | |
| | ガス用電磁弁の繰返し強度の確保、定量(定水位)止水感知機構部の耐久性が優れていること、高温水遮断機能部の耐久性[アブリング式高温水遮断機能部を有する高温水供給式]が優れていること | | | |
| | 環境に対する配慮 (○は適用された事項を示す) | ○ 製造場の活動における環境配慮 | ○ 材料の調達時等における環境配慮 | |
| | | ○ 製造・流通時における環境配慮 | ○ 施工時における環境配慮 | |
| | | ○ 使用時における環境配慮 | ○ 更新・取外し時における環境配慮 | |
| | | ○ 処理・処分時における環境配慮 | | |
| | 適切な品質管理の実施 | 工程の管理、製造設備等の保守、外注管理、苦情処理等が適切に行われていること | | |
| 要求性能及び評価結果等 優良住宅部品の性能等 | 適切な供給体制及び維持管理体制等の確保 | 保証書等が用意されていること | | |
| | | 無償修理保証の対象及び期間が明記されていること 1) 熱交換器の瑕疵 3年 2) 上記1)以外の部分又は機能(施工の瑕疵含む) 2年 | | |
| | | 製造、輸送及び施工について、責任が明確になっていること | | |
| | | 維持管理のしやすさに配慮されていること | | |
| | | 適切な維持管理への配慮 | 補修及び取替え への配慮 | |
| | | | 構成部品について取替えパーツを明確にしていること 生産中止後 10年間は取替えパーツの供給が可能であること | |
| | | 相談窓口が整備されていること | | |
| | | 維持管理等の体制が構築されていること | | |
| | | 維持管理の実施状況に係る情報が管理されていること | | |
| | 適切なインフェースが設定されていること | | 適合 | |
| 情報提供 | 施工方法・納まり等が明確になっていること | | 適合 | |
| | 基本性能情報 | カタログ等による燃焼消費量、給排気方式等の情報が提供されること | | |
| | 使用情報 | 取扱説明書等により誤使用防止のための指示・警告、無償修理保証期間等の情報が提供されること | | |
| | 維持管理情報 | カタログ等により維持管理内容、消費者相談窓口等の情報が提供されること | | |
| 主要性能についての特記 | 主要性能についての特記 | 施工情報 | 施工説明書等による施工上の留意事項等の情報が提供されること | |
| | | 熱効率 | JIA C 002 の「熱効率試験」による熱効率は瞬間式 78%以上、貯湯式にあっては 70%以上、省エネルギーによる環境の保全に寄与するものに適合するものは 90%以上である | |
| | | | JIA C 002 の「ふろ部の熱効率試験」による熱効率は自然循環にあっては 70%以上、強制循環、間接循環加熱式及び高温水供給式にあっては 72%以上である | |
| | | 給湯能力 | | |
| | | 給湯専用給湯機：最大 20.9kW 以上、最小 5.2kW 以下 追いだき機能付給湯機：最大 15.7kW 以上、最小 5.2kW 以下 注) 浴室設置型及び外壁貫通設置型の給湯能力においては、10.5kW 以上とする | | |
| | | 連続騒音 | | |
| | | JIA C 002 の「連続騒音試験」による連続騒音は給湯専用型で給湯能力 27.9kW (給湯能力 16 号) 以下の場合は 50dB (A) 以下、給湯能力 27.9kW (給湯能力 16 号) 超えるもの及び追いだき機能付給湯機の場合は 52dB (A) 以下、住棟セントラル給湯方式の場合は 60dB (A) 以下である | | |
| | | 出湯湯温の安定性 | | |
| | | BLT GH-02 の「湯温の安定性試験」による出湯湯温の安定性は設定温度±1.5K 以内への収束時間が 60 秒以下である | | |
| | | 環境保全 (B L-bs*) 付加基準 | | |
| | | ・定格効率は 90%以上またはモード熱効率は、給湯専用給湯機については 85.4%以上、追いだき機能付給湯機については 83.6%である ・環境に対する配慮の項目で製造場の活動における環境配慮、使用時における環境配慮を必須としている | | |
| 設計コンセプト、特徴等 | | | | |
| 備考 | | | | |

* B L-bs : Better Living for better society (より良い社会の実現を先導する部品)

受付No.24-232

ガス給湯機 性能表示書 別紙(1/1)

優良住宅部品認定規程第14条第4項に基づき、認定されたガス給湯機の主要な性能等を以下に表示する。

| 優良住宅部品の概要 | | | | | | | | | |
|--------------|--------------------|----------------|---------------------|--------------------|-----------|---------------------|-------------|----------|--------------------------|
| 認定企業名 | 株式会社ハロマ | | | | | | | | |
| 認定番号 | BLGH022126-A,B | | | | | | | | |
| ガス給湯器 | | | | | | | | | |
| 名称 | 申請型式 | 設置方法 | 外形寸法(mm) (H×W×D) | 質量 (kg) | 配管 接続径 | 最低作動 水圧 (kPa) | 追いだき 方式 | 自動機能 | 浴槽と給湯機の 位置関係 |
| FH-E2011SAUL | PS標準・扉内設置型、上方排気延長型 | H600×W470×D240 | 26.5 | 水湯 R1/2 追焚 R1/2 | 10 | 循環加熱式強制循環 | 湯張り、沸き上げ、保溫 | 設置フリードミン | モード熱効率 (%) |
| FH-E2011SABL | PS標準・扉内設置型、後方排気延長型 | H600×W470×D240 | 26.5 | 水湯 R1/2 追焚 R1/2 | 10 | 循環加熱式強制循環 | 湯張り、沸き上げ、保溫 | 設置フリードミン | エネルギー消費率 (%) |
| | | | | | | | | | 表示方々消費量 (kW) |
| | | | | | | | | | 定格消費電力 (W) |
| | | | | | | | | | 出湯能力 (最大時) (L/min) |
| | | | | | | | | | 環境保全 (BL-bs) |
| | | | | | | | | | ○ |
| | | | | | | | | | ○ |